

2009年9月

< 報道関係各位 >

日本の美に徹底的にこだわったデザインと快適性を追求

別館客室及び施設改修工事完了

- ・別館客室 9 階～11 階(116室)の改装
- ・社内研修センターの新設、本館チャペルの改装、インフラ整備

ホテルオークラ東京

ホテルオークラ東京では、別館客室の9～11階の改修と、本館チャペルの改装および社内研修センターの新設・別館客室フロアのインフラ整備を行い、2009年9月11日に完成いたしました。



< スーペリアツイン >

和の静けさを追求した空間

銀杏、藤は古来より日本の和歌や織物のモチーフとして用いられてきました。

現在のホテルオークラ東京の敷地には、前橋藩松平大和守邸があった江戸時代から虎ノ門の地を見守ってきた銀杏の木があります。「和」の静けさを表現するため、余分な装飾はそぎ落とし、ホテルオークラのシンボルにもなっている銀杏の葉をジャカード織であしらった壁紙クロスを使用しております。光の角度で微妙に変わる表情と凹凸のある素材感を表現するため、壁紙クロスの製作には、11

回もの試作を重ねました。

また、藤のイメージは壁紙クロスの一部とカーペットにも巧妙に織り込まれています。カーペットは通常ホテルで使われる平均7mm厚をはるかに超える10mm厚のものを使用。お客様が裸足で歩いても快適なように配慮いたしました。

客室内の改装にあわせ、客室廊下部分の改装、1973年の別館開業以来初の全面的な給湯管交換を含むインフラ整備も完了し、より快適にご滞在いただける環境が整いました。

人材育成のための投資：社内研修センターの新設

今回の改装では別館3階の客室の一部を改装し、オークラ・ホテルズ・アンド・リゾーツグループホテル(全21ホテル)の社員研修用として使用するための研修センターを新設いたしました。オークラが開業以来培ってきた技術や伝統の継承、幹部社員への研修などに使用される予定となっております。ホテルオークラは「ホテルの経営の根幹は人である」という考えから、このような経済環境下においても人材教育に対する投資を行いました。



(研修センター：トレーニングルーム(左)、ミーティングルーム(右))

研修センターはトレーニングルーム(約200㎡)、ミーティングルーム(約100㎡)、スタディールーム(約30㎡)の3エリアに分かれております。トレーニングルーム、ミーティングルームにはスクリーン、プロジェクター、LANなど設備が完備されている他、スタディールームには語学研修設備の設置を予定しており、ホテルで勤務する上で重要な語学研修にも活用が期待されます。

本館チャペルの改装

昨年8月に行われた別館チャペルの改装に続き、本館チャペルもバージンロード部分が木質のフローリングから大理石に変更されました。まばゆい光を受けて輝くタソス・ビアンコ(白)の大理石をヴェルデ・ガテマラ(緑)で縁取りしたバージンロードはご新婦を明るく浮き立たせます。



改修概要

〈別館客室〉

【部屋タイプ】	スーペリアツイン(39.6 m ²)	39室
	スーペリアダブル(39.6 m ²)	26室
	スタンダードダブル(33 m ²)	48室
	デラックス(46 m ²)	3室
		計116室

【工期】 2009年7月14日～9月3日

【事業費用】 96,500千円

〈研修センター〉

【工期】 2009年7月21日～8月27日

【事業費用】 85,200千円

〈本館チャペル〉

【工期】 2009年8月9日～8月19日

【事業費用】 5,000千円

【以上の設計および施工】 株式会社ホテルオークラスペースソリューションズ(HOSS)

(給湯管交換工事)

【事業内容】 別館客室の給湯管系統の改修
【事業費用】 78,900 千円
【施 工】 新日本空調株式会社

【以上、事業費用総額】 265,600千円

報道関係の方からのお問い合わせ先

ホテルオークラ東京 マーケティング部 プロモーション統括課 鈴木・天野
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4 TEL:03-3224-6731(直通)

一般の方からのお問い合わせ先

ホテルオークラ東京 TEL:03-3582-0111(代表)

ホテルオークラ東京 ホームページ

<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo>

本プレスリリースは上記 URL からもご覧いただけます。